

芝浦工業大学

村上 雅人学長



「大学が産業界と連携する目的は、大学の教育だけではなく、抽象的な議論に陥ることにある。企業は製品や技術の開発といった明確な目的があり、学生が研究へのモチベーションを保ちやすいという長所がある。産業界での課題を知って刺激を受ける。一方、企業側にも研究開発

産学連携を刺激に

の財産だ。ただ中小企業はその価値に気付いていないことも多い。これらを掘り起こすことが大切だ。――中小企業との連携事例で、深海探査機「江起こらない」ようにしている。

「産学連携の課題は、特許などの知的財産権をどうするかが課題。発表の際に企業の技術的なノウハウに触れないように注意することが必要だ。産業界出身のコーディネーターが企業と教員を橋渡しし、トラブルが起らないようにしている。」

工学院大学

水野 明哲学長



「技術者教育を掲げており、産業界との縁が深い。――2本の横棒を縦棒でつなぐ」の文字のこと。最先端の学問と社会・産業ニーズの連携が建学の精神だ。即戦力となるスキルだけではなく、20―30年後に活躍できる基礎力のある人材を育てる。問題解決力、道徳的

基礎力ある人材を

「一方向的方針を決めるのではなく、各学部のアイディアを自由に発展させた。中小企業も気軽に問い合わせしてほしい。――プロジェクトも、現在は微細加工、地震防災などの3案件が進行している。研究内容を社会に還元できる教授陣がいるこ

「10年以上継続しており、単位として認めている。13年度は約180人の学生が参加した。交流の機会になるため企業も協力的で、就職につながった例も少なくない。――グローバル人材を育てることが求められています。」

進む産学連携

大学学長インタビュー

大学にとって産学連携は重要テーマの一つ。東京都に立地している東京理科大学、芝浦工業大学、工学院大学、首都大学東京、東京都立大学の学長に現状などを聞いた。

東京理科大学

藤嶋 昭学長



「産学連携の現状は、本部がある葛飾区には中小企業3000社があり、この地の利を生かして共同研究を活性化している。また4月に光触媒国際研究センターを野田キャンパス(千葉県野田市内)に開設した。セルフレシーティングや人工光合成などのテーマにと国内外から多くの企業

共同研究を活性化

多くの留学生を受け入れており、留学が終わり、留学期間中、火災の専門家として活躍している。また次世代の電池として期待されるナトリウムイオン電池で役立てたい。――学内での人材育成に

池、介護ロボット、医療機器などの成長分野の技術を学部や学科の枠を飛び越えて連携・開発している。――産学連携の支援体制は、――大型研究プロジェクトの企画・運営・成果発表など、研究者が打ち合わせに訪れている。世界中に情報発信する拠点になっている。――研究内容は多岐にわたっています。――当大学はアジアにおける防災研究の拠点にもなっている。アジアから

東京都市大学

北澤 宏一学長



「産業界にとって大学の敷居が低くなってきたように思います。――約30年前までは大学が私企業のために何かやるのは良くないと考えられていた。だが民間企業が大学と協力して利益を上げ、社会が活性化されて税収も増えることにより、大学や地域への投資が増えるといった考

連携で実践教育を

「産学連携の先頭に立たねばならない。――産学連携の推進には何が必要か。――共同研究のアイディアは企業と大学の技術に興味がある者が一緒に食事をとった雰囲気の中で、大学の課題を

「産学連携、そして社会連携は大学の使命である」という個々の職員が、人材育成にもつながる。――実践的な教育を徹底しています。――その一環としてボランティア活動を取組んでいる。――学生も課題解決型の実践教育に巻き込むことが求められる。良いアイデアを見つけたら、ぜひ引きつくりも必要だ。――そのきっかけとは、――企業の経営者や技術者を招いて講演してもらっている。企業の課題を

首都大学東京

原島 文雄学長



「産学連携をどう考えていますか。――産学連携には二つの機能がある。一つは大学の基礎研究が担う人材育成、産業界への人材輩出機能。もう一つが基礎研究から応用研究、そして実用化研究へとステップが進化することで、共同・受託研究すること。この二つをバランスよく展

中小との連携強化

企業が少なかったが、近年は中小企業の相談、共同研究も増えている。企業と大学が連携して補助金を受けて受託研究するもの。――東京都市大学の研究機関や企業で活躍し、当大学との連携推進の担い手にもなっている。――地域企業・機関との連携は、――「東京都市大学が運営主体だが、都にかなわぬ研究テーマは多い。年間研究費ベースで約3分の1は

強化するため、産学公連携センターに企業・産業分析の専門家を配置し、企業データベースを活用した信用リスク管理にも取り組んでいる。また都のアジア人材育成政策の一環で、留学生に博士号を取得させている。彼らは具体的な事例はあります。――例えば多摩信金との連携により、中小企業との接点が増えた。また次世代の農業経営者を育成する講座「TAMANA EXTRACT」を立ち上げた。若手の農業後継者を対象に、教授や専門家が講師となり、都市型農業の手法や税制などを講義する」

DVD
VIDEO

匠の業

「技術立国」である日本の経済発展のために欠かせないのが我が国産業界の活性化です。なかでもモノづくりを中心とした製造業においては、その技術開発力を背景にさわめて多岐にわたる製品群を世界中に提供し、そのリード役を担ってきました。現在では、グローバル化が進展する中、先進国、発展途上国を問わず、多くの国でモノづくり機運がかつてないほどの高まりを見せております。企業間の競争も国の垣根を越えて激しく展開されています。資源の乏しい我が国が世界に向け今後も活路を見出ししていくには、原点ともいえる技術立国としての地位を揺るぎないものにしていく必要があります。従来はOJTにより継承された「匠の業」ともいえる技術が途絶えては、産業界はもとより、日本の将来にとっても大きな損失となります。一方、少子化、理系離れが指摘される中、若手技術者の養成も重要課題のひとつといえるでしょう。おかげまで日刊工業新聞社が提供している「教育用映像ソフト」はこうした課題に対応するものとして好評を得てきています。社員向けの研修教材用として、あるいは作業現場での技術継承ツールとして、今後も引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

高速・高精度シリーズ

高速・高精度 マシニングセンタ

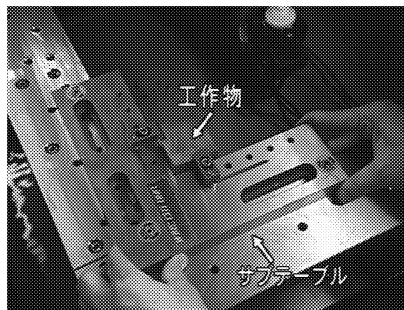


全1巻 [50分]

1. マシニングセンタのあらし
2. マシニングセンタの構成要素
3. プログラムの約束事
4. マシニングセンタ加工の実際
5. マシニングセンタの将来

監修：鈴木 重信（職業能力開発大学校）
販売価格：29,400円
（テキスト1冊付）（消費税5%込み価格）
追加テキスト1冊：2,000円

高速・高精度 ワイヤ放電加工

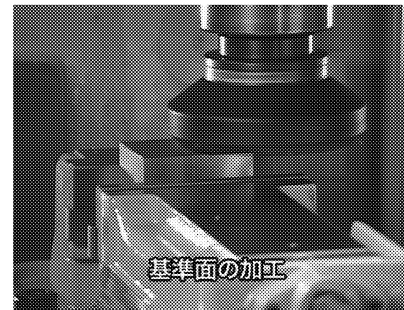


全1巻 [40分]

1. ワイヤ放電加工とは
2. ワイヤ放電加工の基本
3. ワイヤ放電加工技術
4. 自動プログラミングの上達法
5. ワイヤ放電加工の実際

監修：塩田 泰仁（職業能力開発大学校）
販売価格：29,400円
（テキスト1冊付）（消費税5%込み価格）
追加テキスト1冊：1,500円

高速・高精度 CNC形彫り放電加工



全2巻

上巻 [26分]

1. プロローグ
2. 放電加工のしくみ
3. 工作物の前加工と電極の設計 ほか

下巻 [31分]

1. 放電加工機の基本構成
2. 工作物の取り付けと垂直及び平行出し
3. 電極の取り付けと垂直及び平行出し ほか

監修：武藤 一夫（工学博士）
販売価格：84,000円（分売不可）
（テキスト1冊付）（消費税5%込み価格）
追加テキスト1冊：3,150円

お申込みは <http://www.nikkansc.co.jp> または FAX:03-3666-9800

お申し込み・お問い合わせは

日刊工業サービスセンター 情報事業部 映像担当

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町16-1 6F TEL: 03-5651-8877 e-mail: nkmail02@nikkansc.co.jp

>> 総合カタログ進呈 <<